



過去最高となる180名が参加。九州最大のツーリングイベント開催。

# CLUB CRUISE 13th Touring

2009.4.19 in YUFUJIN

春の恒例行事となっているクラブクルーズのツーリングが今年も開催された。13回目を迎えた今回は、スタッフを含めると総勢200名という過去最大規模で行なわれ、奥湯布院において美味しい食事と雄大な景色を堪能した。

高桑秀典●文  
text by hidenori Takakuwa  
西野キヨシ／山口しげる／河野譲●写真  
photographs by Kiyoshi Nishino / Shigeru Yamaguchi / Zyo Kawano



November 2009 Rosso 142



# CLUB CRUISE 13th Touring



今年もビンゴゲーム&ジャンケン景品取り大会は大いに盛り上がった。司会進行を務めたのは、地元テレビでお馴染みのスター高橋氏だ。今回も数多くの豪華商品が用意され、特賞はプロジェクター&DVD&スクリーンセットだった。

早いもので、クラブクルーズのツーリングは今年で13回目を迎えた。スタッフを含めると総勢200名という過去最大規模での開催となったので、参加者全員で撮った集合写真はご覧のような迫力あるものになった。



毎回、クラブクルーズのツーリングはフェラーリ勢が主体となるが、ディアブロGTをはじめとするランボルギーニ勢もその雄姿を披露した。ガヤルド・スーパーレジェラやカウンタック・アニバーサリー等も参加。



最新のスーパースポーツから69年式フェラーリ365GTのような往年の名車までが集まった。これほどまでにパリエーションに富んだスーパーカーを堪能できる機会は少ないので、参加者の皆さんも大興奮だった。



イベント当日は好天に恵まれたこともあり、全車が雄大なロケーションの中でのツーリング&パレードランを心行くまで楽しんだ。ちなみに、今年のパレードランには、94台もの新旧スーパースポーツが参加した。

## ク

クラブクルーズのツーリングは、第9回目以降、単なるミーティングという枠を超え、春の九州スーパーカーブランチとしての役割も担ってきた。そのため、クラブクルーズを主宰するモーターズスポットクルーズのスタッフは、参加してくれる皆さんに素晴らしいロケーションの中を颯爽と走れる機会だけでなく、昼食会にて美味しい食事を提供するということも努めてきたといっている。

会場を奥湯布院の地鶏屋「炭熊」とした前回から、それまで以上にスーパーカーブランチらしさを演出できるようにしたが、今年も最高の料理を楽しめる「炭熊」が会食会場として選ばれた。

ちなみに、今回は初の試みで携帯電話のメルマガを活用してエントリー受付を行なったが、180名という過去最高の参加者を集めることができた。メルマガを採用するなど、新しいアクションを起こしたこと、長引く不況の影響で当初は例年よりも参加者が少ないのでは……と心配する一幕もあったが、実際には不安と不況を吹き飛ばすエントリー数をマークすることができた。スタッフ一同、胸を撫で下ろしつつ、参加してくれた皆さんに心底感謝していることをお伝えしておく。

さて、イベント当日の流れを説明しておく、まず、会場に到着した一行はスーパーカーショー状態になっている駐車場にて見学&記念撮影を行ない、正午から「炭熊」ご自慢の地鶏料理に舌鼓を打った。

そして、久しぶりに再会した仲間たちとのクルマ談議を楽しんだ後、地元TVでお馴染みのスター高橋氏を司会者に迎えてのビンゴゲーム&ジャンケン景品取り大会を堪能した。

## Information



### モーターズスポットクルーズ

●所在地=〒811-3424  
福岡県宗像市原町2217-1  
(R3宗像バイパス沿)  
☎0940-37-0020  
●営業時間=10:00~20:00  
●HP=http://www.ms-cruise.com/

敷地面積約900坪という広大なスペースにオフィス、接客ルーム、商談ルーム等が存在。販売車両は全車屋内展示。ファクトリーは店舗に併設されている。

なお、数多くのフェラーリグッズが景品として用意され、特賞には、なんとプロジェクター&DVD&スクリーンセットが贈られた。クライマックスの特賞争奪ジャンケン対決では、ギャラリーの皆さんもいっしょになって大興奮状態となった。

その後、興奮が冷めやらぬまま参加者全員での記念撮影を行なった一行は、各自愛車のエンジンを始動し、閉会場所までのパレードランを楽しんだ。

今回のパレードランにもフェラーリを主体とする94台のスーパーカーが参加したが、好天に恵まれた雄大なロケーションの中をカラフルなマシンたちが連なって走る光景は本当に感動的だった。

すでにスタッフの気持ちは、14回目のクラブクルーズ・ツーリングを成功させることに向かっている。何か新しい展開を考えているようなので、期待することしよう。